

(1) ヒヤリ・ハット事例の活用【資料】

ア 「転倒」の事例

雨で足を滑らせて転倒しそうになった

▶ 状況

ビル内を巡回中の施設警備員 Aさんは、午後から降雨が予想されており、雨具と耐滑安全靴を着用するように指示がされていたが、まだ雨が降っていなかったため普段から着用している靴を履いて巡回を行っていた。屋上の巡回している際に、突然雨が降ってきたので足早に室内に戻ったところ、タイル張りの床に足を滑らせて転倒しそうになった。

▶ 主な原因

- ✓ 靴底が雨で濡れた状態で、ビル内を歩いてしまった。
- ✓ 指示に従わず、耐滑安全靴を着用しなかった。

▶ 主な対策

- ✓ 指示された事項には、必ず従う。
- ✓ 降雨が予想される日の巡回の際は、耐滑安全靴を着用する。
- ✓ 吸水マットを設置してもらうよう警備責任者に伝える。
- ✓ タイル張りの床は雨天時に滑りやすいことなど、巡回経路の留意点を共有しておく。

くぼみに気付かずに転倒しそうになった

▶ 状況

深夜に工場敷地内を巡回していた施設警備員 Aさんは、通路上部の窓が開いていないか、上を見たまま歩いていたため、通路にできたくぼみに全く気付かず、足を引っ掛け転倒しそうになった。

▶ 主な原因

- ✓ 周囲が暗い状況であったにもかかわらず、1つの方向（上部）に意識が集中してしまった。

▶ 主な対策

- ✓ 巡回中は上部など一点のみに意識を集中させないようにする。特に周囲が暗い時は、足元に注意する。
- ✓ 巡回の際に転倒の危険のおそれがある箇所は、改善してもらうよう現場責任者・警備責任者などに相談する。